

2009年3月期 決算説明会 セグメント情報

2009年5月12日
伊藤忠商事株式会社

2009年度定量計画 前提条件



計画の前提

	2008年度 (実績)	2009年度 (計画)	(参考)市況変動による 連結純利益に与えるインパクト
為替(円/US\$)	101	90	約△10億円(1円の円高)
金利(%) TIBOR(¥)	0.8%	0.6%	約△8億円(年間を通して1%の金利上昇)
原油価格(\$/BBL)*	98	53**	±約2億円(\$1/BBLの増減)
鉄鉱石(\$/TON)* 豪州産	90(粉鉱) 129(塊鉱)	N.A.	} 限定的***
強粘結炭(\$/TON)*	300	128	
一般炭(\$/TON)*	125	70	

* 原油はブレント原油(1-12月平均)。鉄鉱石、強粘結炭、一般炭は対日ベンチマーク価格。

** 2009年度(計画)の原油価格前提は、1-3月 \$46/bbl、4月以降が\$55/bbl

*** 鉄鉱石及び石炭の販売は大半が年間契約であり、年度内の市況変動が連結純利益に与えるインパクトは基本的には限定的。

参考値として、2009年度業績見通しにおける前提条件をベースとし、販売価格のみがトンあたり\$1変動した場合の連結純利益に与えるインパクトは、以下の通り試算された。
鉄鉱石 ±7億円、石炭 ±4億円

(上記試算結果は、販売数量、為替、生産コスト等により変動致します。)

原油・天然ガス取分数量	41,900BD****	39,100BD****
鉄鉱石持分生産能力数量	11百万トン	14百万トン
石炭持分生産能力数量	9百万トン	9百万トン

**** BD = バレル/日

前提となる原油価格:2008年度\$53/バレル、天然ガスは6,000cf=1バレルにて換算。

セグメント別 連結純利益計画



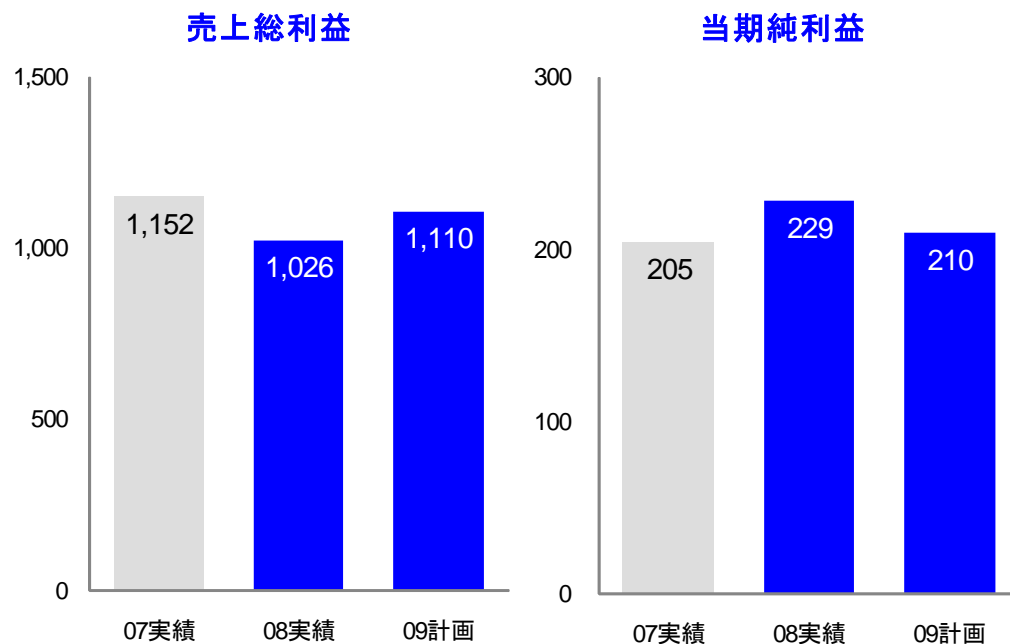
連結純利益内訳

(単位: 億円)

	Frontier ⁺ 2008		Frontier ^e 2010	
	07 実績	08 実績	09 計画	前年比
繊維	205	229	210	△19
機械	214	△155	90	+245
情報通信・航空電子*	146	80	110	+30
金属・エネルギー	1,057	1,147	600	△547
金属	559	838	425	△413
エネルギー	498	309	175	△134
生活資材・化学品	197	190	200	+10
生活資材	83	120	90	△30
化学品	114	70	110	+40
食料	187	202	250	+48
金融・不動産・保険・物流	108	△12	80	+92
金融・保険・物流	130	△44	60	+104
建設・不動産	△22	32	20	△12
その他及び修正消去	60	△28	△240	△212
合計	2,173	1,654	1,300	△354

* 08年度実績までは宇宙・情報・マルチメディアカンパニー

セグメント別情報：繊維



08年度決算概況及び09年度計画

08年度は原料・織物・衣料品の市況低迷があったものの、新規関連会社の連結に加え、投資有価証券損益の大幅好転等があり07年度比増益。

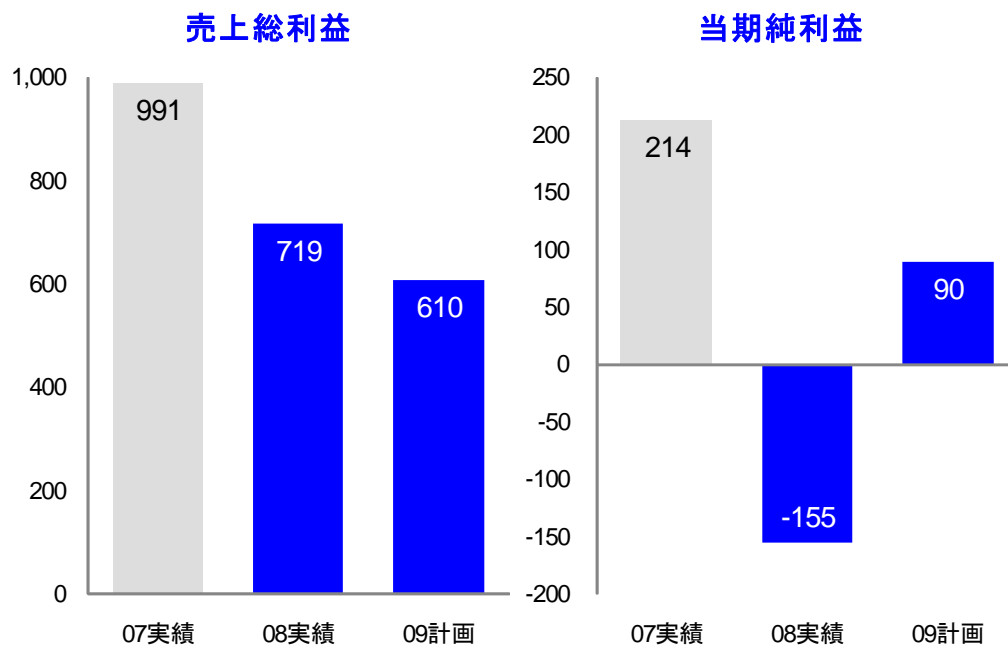
09年度は08年度までに実施した新規投資の効果等がある一方で、有価証券売却益の反動等により減益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
ジョイックスコーポレーション	9	4	6
(株)三景	-	1	21
Prominent Apparel Ltd.	6	6	6
伊藤忠繊維貿易(中国)有限公司	9	10	9

(単位:億円)

セグメント別情報：機械



08年度決算概況及び09年度計画

08年度は、需要の冷え込みによる自動車・建機取引の減少に加え、モンゴル向け債権に係る貸倒引当金の計上、投資有価証券評価損の計上等により07年度比大幅減益。

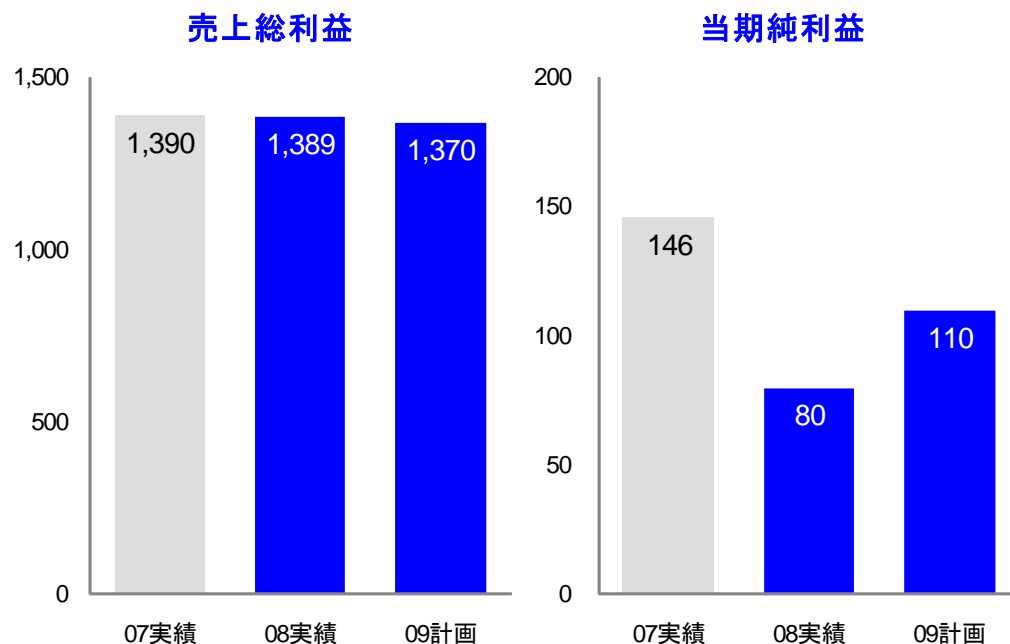
09年度は引き続き厳しい環境が継続すると想定されるものの、08年度の一過性損失の反動等により増益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
ITOCHU Automobile America Inc.	6	△16	△2
MCL Group Limited	△26	△25	△6
伊藤忠建機	8	4	5

(単位：億円)

セグメント別情報：情報通信・航空電子



* 08年度実績までは宇宙・情報・マルチメディアカンパニー

08年度決算概況及び09年度計画

08年度は国内情報産業関連事業における経費増加、投資有価証券損益の悪化等により07年度比減益。

09年度は、国内情報通信・メディア関連事業会社の業績改善等により増益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
伊藤忠テクノソリューションズ	81	*	*
アイ・ティー・シーネットワーク	17	16	15**
エキサイト	△11	△14	0**
スペースシャワーネットワーク	2	1	1**

* 決算公表前のため開示を差し控えております。

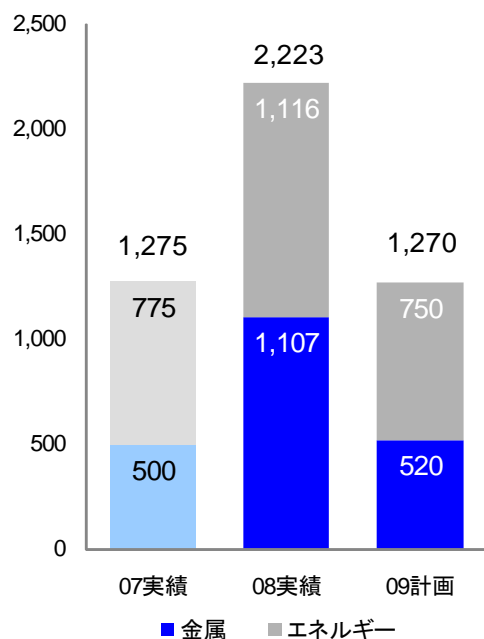
** 各社公表年間見通し×取込比率

(単位：億円)

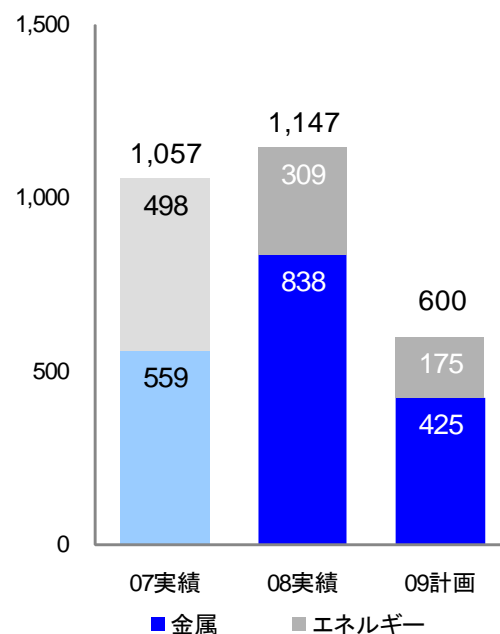
セグメント別情報：金属・エネルギー



売上総利益



当期純利益



08年度決算概況及び09年度計画

08年度はメキシコ湾における油田開発プロジェクト撤退に伴う損失があったものの、金属資源価格上昇等による売上総利益の増加、原油価格上昇による受取配当金の増加、伊藤忠エネクス子会社化による影響等により07年度比増益。

09年度は、08年度の一過性損失の反動、新規鉄鉱石権益プロジェクトからの利益貢献が期待されるものの、原油価格の下落、金属資源価格の下落等により減益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
ITOCHU Minerals & Energy of Australia Pty Ltd	385	712	302
(鉄鉱石)	238	396	↘
(石炭)	135	351	↘
(アルミナ)	16	8	↘
伊藤忠丸紅鉄鋼	169	148	*
ITOCHU Oil Exploration (Azerbaijan) Inc.	334	261	21
LNG配当(税前)	128	178	↘

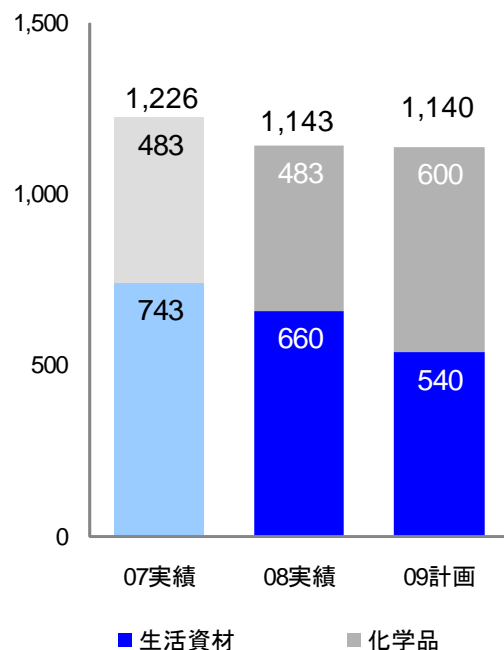
* 当該会社は業績の公表を個別に行うため、当該会社の公表数値をご参照ください。

(単位：億円)

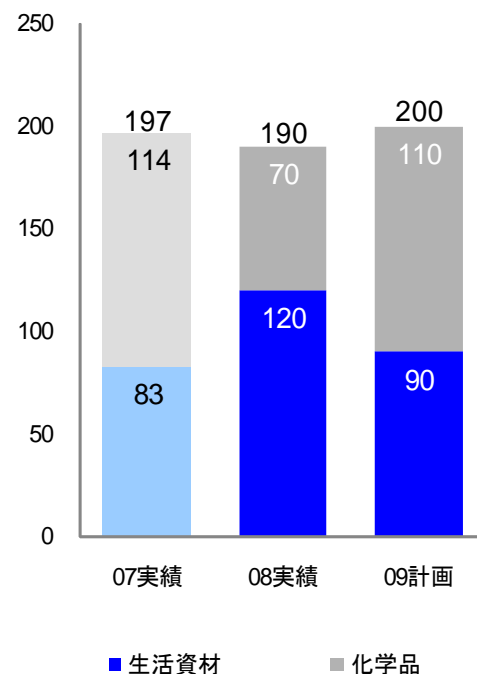
セグメント別情報：生活資材・化学品



売上総利益



当期純利益



08年度決算概況及び09年度計画

08年度は北米住宅資材関連事業、南米パルプ関連事業等の生活資材関連事業が堅調に推移したものの、化学品市況の低迷、事業会社における一過性損失の発生等により07年度比減益。

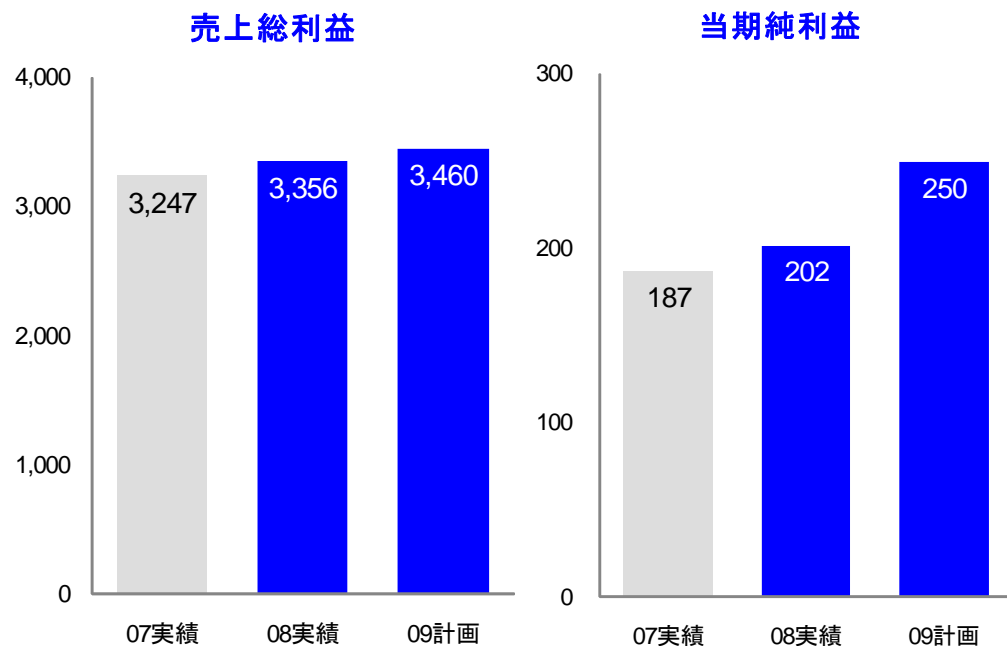
09年度は上記生活資材関連事業の減速が想定されるものの、化学品市況の底入れ、一過性損失の反動等により増益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
PrimeSource Building Products, Inc.	64	83	↘
伊藤忠建材	3	△10	1
日伯紙パルプ資源開発	17	49	↘
伊藤忠ケミカルフロンティア	18	11	15
伊藤忠プラスチック	31	16	21

(単位：億円)

セグメント別情報：食料



08年度決算概況及び09年度計画

08年度は食品流通関連での取扱増加及び年度前半の飼料穀物等の取扱増加により07年度比増益。

09年度は中国及び台湾食品・流通大手企業への投資による効果、事業の組替等により増益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
ファミリーマート	49	53	58*
吉野家ホールディングス	1	△15	1*
エイ・アイ・ビバレッジ・ホールディング	17	17	-
不二製油	△4	20	17*

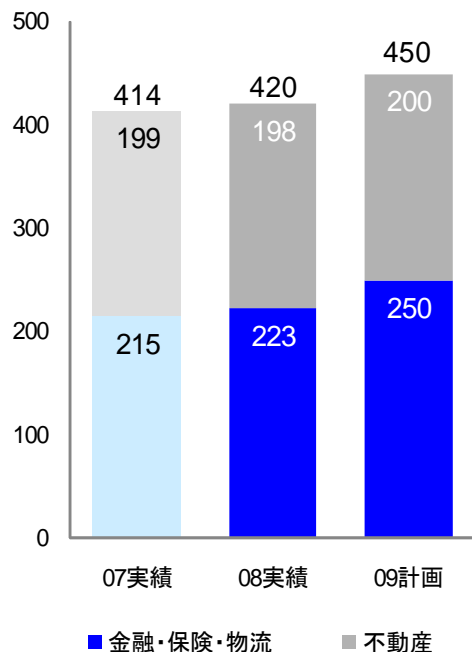
* 各社公表年間見通し×取込比率

(単位：億円)

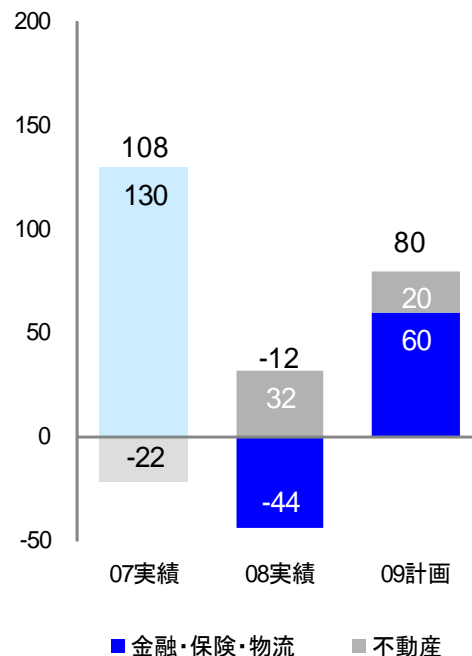
セグメント別情報：金融・不動産・保険・物流



売上総利益



当期純利益



08年度決算概況及び09年度計画

08年度は、07年度の金融関連事業の資本政策に伴う利益等の反動に加え、同事業に関する投資の評価損処理、金融子会社の運用収益悪化により減益。

09年度は、08年度の一過性損失の反動、金融子会社の業績改善等により増益となる見通し。

主要事業会社取込損益

	07実績	08実績	09計画
オリエントコーポレーション	193	△27	*
C.I. Finance (CAYMAN) LTD.	0	△30	-
ITOCHU Financial Services, Inc.	1	△10	0
ITOCHU Finance (Europe) PLC.	△1	△9	△2
伊藤忠ファイナンス	△70	6	1
伊藤忠都市開発	△44	3	10

* (各社公表見通し×取込比率)にて計算される数値と実際の取込損益との間に乖離が生じる場合があるため開示を差し控えております。

(単位：億円)

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている伊藤忠商事の計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいています。これらの期待・見積り・予想は、経済情勢の変化・為替レートの変動・競争環境の変化・係争中及び将来の訴訟の結果・調達資金や金融商品・財源の継続的な有用性など多くの潜在的リスク・不確実な要素・仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いします。また、伊藤忠商事は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

ITOCU
ITOCU